

八王子市立第三小・第四小・第十・大和田小学校 子どもの囲碁教室だより

87号 2024年1月

編集 成田 滋 shigerunarita@gmail.com

ブログ <https://naritas.jp/wp1/>

八王子囲碁連盟 <https://hachigoren.com>



◆ 2024年1月の子どもの囲碁教室の日程

- ・ 第三小学校：1月16日、23日、30日
毎週火曜日 2時30分～ 四階 算数教室
- ・ 第四小学校：1月15日、22日、29日
毎週月曜日 2時30分～ 二階 ひらめき教室
- ・ 第十小学校：1月19日、26日2時30分～
毎週金曜日 一階 家庭科室
- ・ 大和田小学校：1月10日、17日、24日、31日
毎週水曜日 午後2時30分 二階 図書室

◆ 始めにことばありき

聖誕祭はクリスマス、ノエル(Noel)とも呼ばれています。人々はアドベント(待降節)をクリスマスの準備期間として祝い、1月6日に「東方の三博士の来訪」を記念する顕現日(エピファニー)を祝いこれを以て聖誕祭が終わります。

いくら世界中の人々がクリスマスを祝うといっても、聖霊によるマリアへの受胎告知やイエスの誕生に納得できない人々がいるはず。その後のキリストの受難と昇天、そして復活もそうかもしれません。キリスト教徒でない人々の中には聖書の中味を、「作り話」、「ファンタジ」、「空想」として捉えるために、受胎告知や復活といった奇跡にさしたる抵抗を感じないようです。ですからクリスマスも、わだかまりもなく子どもや家族と楽しむことができるのです。今回はその先のことを考えてまいります。

復活とか蘇りという出来事は、考えてみれば宗教の世界で通用する現象です。キリスト教徒は、そうした「出来事」にかつては困惑したり懐疑したことはあったにせよ、それを「吹っ切って」洗礼を受け信徒になったのです。

こうした転機は奇跡としかいいようがありません。

「人知では到底計り知れないこと」は世の中にはいくらでもあります。高い教育を受け、自然科学に触れ、進化論を知ったにせよ、こうした宗教上の現象は、この世界とは次元の越えた現象といってよいでしょう。そこには吹っ切れたという個人的な体験があったからだろうと察するほかはありません。恐らく誰もこの不思議な導きを言葉では説明できないでしょう。

人の使う言葉には限界があります。愛するものの死に接したとき、哀しみを表現する言葉が浮かびません。どんな慰めの言葉も癒しにならない時があります。人間の言葉とはそういうものです。語いが足りないというほかありません。

ヨハネによる福音書1章1節に「始めにことばありき」(In the beginning was the Word) という章句があります。ここでの言葉-Word は神のことば一口ゴス(logos)ということです。この世界の根源として神が存在するという意味とされます。ブリタニカ百科事典には「口ゴスは世界の根幹となる概念であり、世界を定める理(ことわり)」とあります。

良いお年をお迎えください。

